

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: コレラ 1 例(感染地域:青森県)、細菌性赤痢 14 例(感染地域:大阪府 1 例、インド 5 例、インドネシア 2 例、エジプト 2 例、セネガル 2 例、中国 1 例、カンボジア/ラオス 1 例)、腸チフス 1 例(感染地域:国内(都道府県不明))
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 24 例(うち有症者 12 例、HUS 1 例)[感染地域:すべて国内 国内の多い感染地:熊本県 9 例、宮城県 5 例 年齢群:10 歳未満(5 例)、10 代(8 例)、20 代(1 例)、30 代(4 例)、40 代(4 例)、50 代(1 例)、60 代(1 例) 血清型・毒素型:O157 VT1・VT2(20 例)、O157 VT1(1 例)、O157 VT2(1 例)、O26 VT1(2 例)]
- 4 類感染症: A 型肝炎 4 例(感染地域:長崎県 2 例、宮城県 1 例、大分県 1 例)、オウム病 1 例(感染地域:静岡県、感染源:ハト)、つつが虫病 3 例(感染地域:千葉県 2 例、鹿児島 1 例)、デング熱 1 例(感染地域:ラオス)、レジオネラ症 10 例(すべて肺炎型)[年齢群:40 代 1 例、50 代 1 例、60 代 4 例、70 代 2 例、80 代 2 例 感染地域:新潟県 2 例、大阪府 2 例、北海道 1 例、長野県 1 例(温泉)、岡山県 1 例、福岡県 1 例、国内(都道府県不明)1 例、東京/タイ 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 15 例(腸管アメーバ症 11 例、腸管外アメーバ症 3 例、腸管・腸管外アメーバ症 1 例)[感染経路:経口 2 例、性的接触(同性間)1 例、その他 1 例、経口/性的接触(同性間・異性間不明)1 例、不明 10 例]、ウイルス性肝炎 2 例(ともに B 型 感染経路:ともに性的接触(異性間))、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例(孤発性プリオン病古典型)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例(30 代、血清群:G 群、死亡)、後天性免疫不全症候群 13 例(無症候 9 例、AIDS 3 例、その他 1 例)[感染地域:国内 9 例、国外(国不明)1 例、国内・国外不明 3 例 感染経路:性的接触 11 例(異性間 3 例、同性間 8 例)、不明 2 例]、ジアルジア症 2 例(感染地域:ともに国内)、梅毒 4 例(早期顕症 I 期 1 例、早期顕症 II 期 2 例、晩期顕症 1 例)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では岐阜県(1.53)、宮城県(1.24)、滋賀県(1.11)、愛知県(0.92)が多い。

小児科定点報告疾患:RS ウイルス感染症は 2,688 例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 80%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去 5 年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では石川県(0.93)、山形県(0.70)、北海道(0.69)、富山県(0.69)が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してもやや多い。都道府県別では鳥取県(3.5)、富山県(3.3)、愛媛県(3.0)、石川県(2.6)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県(12.8)、高知県(10.6)、大分県(10.1)、福島県(10.1)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮城県(5.3)、大分県(4.9)、福井県(4.9)、鳥取県(4.4)が多い。手足口病の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してもやや多い。都道府県別では宮城県(1.14)、佐賀県(1.00)、長崎県(0.91)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では富山県(2.1)、石川県(1.6)、宮城県(1.4)、北海道(1.0)、岩手県(1.0)が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では長野県(0.07)、岩手県(0.05)、兵庫県(0.05)が多い。風しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では千葉県、東京都、沖縄県から各 1 例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では岡山県(0.13)、佐賀県(0.09)が多い。麻しんの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では岐阜県(0.04)、埼玉県(0.03)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(3.4)、宮城県(2.5)、島根県(2.0)が多い。

基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では沖縄県(2.0)、群馬県(1.8)、愛媛県(1.5)が多い。成人麻しんは埼玉県から 1 例の報告があった。

1)	小児科定点												眼科定点		基幹定点							
	インフルエンザ	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん
(定点当たり)																						
愛媛県	.1	1.3	.1	2.9	9.7	3.1	.1	.8	.9			.1		.7		2.9			1.5			
近県	香川県	.0	1.5	.1	1.3	7.1	3.2	.0	.5	.7				.6	.3	1.0						
	徳島県	.1	1.1	.3	1.3	8.0	1.8		.3	.8				1.0		.3						
	高知県	.1	.9	.1	1.1	10.6	2.2	.1	.0	.4				1.3		1.0			.1			
全国	.4	.9	.3	1.3	6.2	2.7	.2	.6	.7	.0	.0	.0	.0	.8	.0	.7	.0	.0	.5	.0	.0	.0
北海道	.3	.7	.7	1.8	2.4	2.4	.1	1.0	.5				.0	.8		.7						
東北	.3	.7	.3	1.3	6.9	2.9	.2	.7	.5	.0			.0	1.2	.1	.6			.5	.0		
関東	.2	.4	.2	1.2	6.3	2.6	.1	.6	.6	.0	.0		.0	.5	.0	1.0	.0	.0	.7	.0	.0	.0
甲信越北陸	.2	.7	.5	2.1	7.9	2.6	.2	.9	.6	.0				1.6	.0	.5			.0	.5	.0	
東海	.9	1.3	.3	1.2	5.1	2.4	.2	.8	.7				.0	.7		.4	.1	.1	.7			
近畿	.5	1.1	.2	.9	5.2	2.6	.1	.4	.6	.0			.0	.8	.0	.5			.0	.4		
中国四国	.2	1.3	.3	1.6	7.8	2.6	.1	.4	.6				.0	.8	.0	.9	.0		.5			
九州沖縄	.5	1.1	.3	1.4	7.0	3.4	.6	.3	.9	.0	.0	.0		1.1	.1	1.1	.0	.0	.3	.0		

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。(1月18日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第2週 (2007.1.8 ~ 1.14)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																					
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(9)狂犬病	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ポツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症	
第2週報告数	全 国	1	14	1	24			4	1						3	1										10	15	2		1	1	13	2				5					
	四 国	愛 媛 県																																								
		香 川 県																																								
		徳 島 県																																								
		高 知 県																											1		1											
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道																								1																
		東 北 道	1	1	1	5			1																	1																
		関 東 圏		5		1										2											2	9											1			
		甲信越北陸																									2	1														
		東 海 道									1																	1														
近 畿 圏			8		1																					2	2	1														
中国四国				4																					1	1	1															
九州沖縄				10											1	1										1	1															
週 推 移	全 国	2週	1	14	1	24			4	1					3	1										10	15	2		1	1	13	2					5				
	1週		7		3										9											1	2												1			
	52週		6	1	26	1		1							10	2										7	14	1	1										4		3	
	51週		5		32			3							14												7	4	1										6	1		
2007年累積数	全 国	1	21	1	30			4	1						12	1										12	20	2		2	3	23	3				7	1		2		
	四 国	愛 媛 県																																								
		香 川 県																																								
		徳 島 県																																								
		高 知 県																											1		1											
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道																									1															
		東 北 道	1	1	1	5			1							1											1	1												1		
		関 東 圏		5		1										2											3	11														
		甲信越北陸		1												1											2	1														
		東 海 道		1		5					1																	3														
近 畿 圏			13		1										6											2	2	1														
中国四国				5																					1	1	1															
九州沖縄				13											2	1										1	1															

医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2007.1.18集計)